

# 学校便り

滑川市立西部小学校 R4.11.30

学校教育目標「三つの花」を咲かせる西部っ子 芝生



にこにこ花 楽しくあいさつができる子  
ほかほか花 相手の心を思いやることができる子  
きらりん花 キラキラと自分らしく輝く子

## 子供たちのために立ち上がった西加積消防分団！

みなさん、ご存じでしょうか。西部小学校のグラウンドですが、今から約 25 年前に大規模改修が行われ、現在の形となりました。改修当時、子供たちの体力向上への意識を高めようと、ある工夫も施されました。それは… **人工芝のランニングコースの設置**です。グラウンドの周囲に敷かれた青々とした人工芝は、見る人にとって爽やかで、当時は、学童体育大会の持久走種目としても活用されました。

ただ、**維持管理がなかなか大変**だったことも事実としてありました。西部小学校は、その立地条件から、年間を通して風の強い日が比較的多く、グラウンドの周りに砂がたまりやすくなることから、いつしかグラウンドと人工芝が一体となる現在の姿になったと聞いています。

グラウンドの改修から四半世紀が過ぎ、現在は砂の下にある人工芝がわずかに見える状態となっています。昨年の6年生は、そういった本校のグラウンドの歴史を学習した後、日々の奉仕活動の中で、砂の除去作業を試みましたが、その量の多さに断念。過去にPTAの父親委員会でも、たびたび話題に上がったと聞いていますが、手作業では限界があると、なかなか除去作業は前に進みませんでした。

そんな時…。去る11月13日早朝。なんと、西加積消防分団のみなさんが立ち上がり、**消防自動車による放水作業で、人工芝の砂の除去を行う**ことになりました。丸太のようなホースから飛び出す水の勢いは凄まじく、約1時間ほどで砂の下から人工芝(約50m)が顔を出すなど、その作業効果は絶大でした。翌日登校した子供たちからも、驚きの声が聞かれ、休み時間には人工芝の上で笑顔で体を動かす姿も多くみられました。

今回、協力してくださった西加積分団の中には、西部小学校PTAのOB、また卒業生の方もおられたと聞いています。そうした、西部小に関わりのある地域の方の協力によって支えられた今回の砂の除去作業。改めて、地域の皆様に愛されている学校、子供たちであることを痛感いたしました。



紙面上ではありますが、子供たちの教育環境充実のために、ご尽力いただいた西加積消防分団の皆様、消防団に呼びかけてくださった教育振興会、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

教頭 飛弾 直樹

## 11月の子供たちの様子

### 生活科の学習 1年生

行田公園で秋見つけをしたり、地域の方とチューリップの球根を植えたりしました。



### 生活科の学習 2年生

「とんだり、ころがったり」。工夫しながら、動くおもちゃを作りました。



### ワンダーラボへの校外学習 5年生

コイルを使った実験や科学の仕組みを使った体験を通して、楽しみながら学習しました。



この他にも子供たちの日頃の学習の様子は、学校ホームページでもご覧になれますので、是非、楽しみにしててください。

西部小学校ホームページ <http://namerikawaseibu-e.el.tym.ed.jp>